

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-3  
国際化と多文化共生の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化国際課長 日下 純子 電話番号 0852-22-6006

事務事業の名称	北東アジア地域との交流	
目的	(1) 対象	県民、北東アジア地域住民
	(2) 意図	北東アジア地域への関心を高め、相互理解と交流を拡大する。
事業概要	北東アジア地域自治体の文化交流に寄与するため、北東アジア地域の伝統文化、芸能の公演・交流活動等を行い、北東アジア地域の相互交流とネットワークづくりを推進する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 交流件数(回数)	目標値	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	回
	取組目標値							
	式・定義 県が関与する北東アジア地域との交流事業における交流件数の合計	実績値	1.0	2.0	1.0			
		達成率	33.4	100.0	50.0	-	-	%
2	指標名	目標値						
	取組目標値							
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	1,916	2,000
うち一般財源(千円)	1,916	2,000

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成29年は、島根県、松江市、在広島大韓民国総領事館の主催により、韓国ノンバーバルパフォーマンス「CHEF」松江公演を開催した。本公演では、演者はセリフをしゃべらず音や動作によって表現するため、国籍を問わず親しみやすい内容だったこともあり、島根県民会館大ホールは満席となった(観覧者数約1500名余)。また、終演後のアンケート(回収率2割)では、約88パーセント(291人)が、公演内容を「とても良かった・良かった」と回答した。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

アンケート結果から、この観覧経験によって、韓国文化への興味の高まりや、韓国のみならず他の文化に対する関心の広まりがうかがえた。県民の異文化理解を促進するきっかけとなった。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

県内において北東アジア地域の伝統文化、芸能の公演・交流活動に触れる機会があることは、県民の北東アジア地域への理解促進に寄与しているが、県民主体による自発的な国際交流活動への拡がりをみせるに至る事例は必ずしも多くない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

公演・交流活動を通じて他国の文化に興味・関心を抱いた県民が、実際に国際交流活動に参画する仕組みづくりができていない。

### ③原因を解消するための「課題」

多くの県民が気軽に触れることができる公演・交流活動の機会は、県民にとって異文化理解や国際交流の入口と位置付け、県が実施する他の国際交流事業PRの場としても活用するなど、県民の交流意欲を増進させていく必要がある。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

多様な文化に触れることで県民の異文化理解は促進され、また、住民主体の身近な交流・協力を通じて相互理解の深まりが期待される。県民の国際交流活動に対する関心を一層高めるためにも、県民が地理的、歴史的つながりの深い北東アジア地域の伝統文化・芸能に触れる機会の提供を、今後も定期的に進めていく。それとともに、県が行う国際交流事業の入り口として、各種事業を積極的にPRしていく。